

69

『パリ旅行』 説明文を伴った21枚の彩色画集

A tour through Paris illustrated with twenty-one coloured plates, accompanied with descriptive letter-press. London, William Sams, 1822—1824. 21 plates (copper, hand-col.)

37.2×26.7cm <383.135-T>

Hiler p. 848 Colas 2898 Lipp. 1187

各図版に記された刊行年によると、本書は1822年と1824年にロンドンのW.サムス社によって手彩色が施された21枚の精巧な石版を解説付きの見事な風俗版画集としてフォリオ版にまとめられたものである。

これまでのファッション版画とは異なり、この版画集は、他国の旅行者が見た異国の風俗として、生活文化の中に〈服装〉を位置づけ、パリの人々の生活に視点をすえて生活空間の美を描いている点で、19世紀初期の風俗版画集として価値あるもの。

図版の内容は次の通りである。①サン・ルイの朝のワイン配給 ②ベルサイユへの馬車 ③ポン・デザールの盲人 ④シャンゼリゼの竹馬ダンサー ⑤育児看護婦事務局 ⑥アンリ4世の銅像の周りでどんちゃん騒ぎするポーターと魚売りの女たち ⑦水泳学校の室内 ⑧チュイルリー公園で新聞を読むパリ市民 ⑨カタコンベ（地下埋葬地） ⑩フランスの下院 ⑪街路の特徴 ⑫大通りの行商たち ⑬陸軍軍人の罷免 ⑭シャトー・ドーの奇術師 ⑮死体公示所 ⑯花市場 ⑰パレロワイヤルの正午 ⑱木炭運び ⑲サンジェルマン・ロクセロワ街のキリスト聖体大祝日の行進 ⑳国民軍の近衛騎兵たち ㉑チュイルリー宮の噴水の歩道を散歩するベリ公妃。著者は不明であるが、Hilerによれば、このうちの⑨⑩⑫⑮の4枚は、同じサムス社刊行のピーク (Richard Brinsley Peake) 著『フランス独特の服装』The characteristic costume of France London, W. Sams [1819—22] からの再録であることが記されていて作風も他とは異なっている。本館では1819年ロンドンのW.フィアマン社で発行された版を所有している。<383.135-P> (内野)